

連載...



No. 1



モンテッソーリ教育ってなあに?

2011年4月



尾道清心幼稚園では、モンテッソーリ教育を取り入れた保育を行っています。保護者の皆さまに、この保育内容を理解していただき、ご家庭での生活の中で子ども達との関わりに活かして頂けたらと思い、今年度もまた連載を始めさせていただきます。

<直感の人、マリアモンテッソーリ>

マリア・モンテッソーリは、1870年にイタリアに生まれました。イタリアにおいて、女性としてはじめて医学の学位を取得した後に、ローマ大学で精神病理学の研究をしました。

この膨大な研究がきょうのモンテッソーリ教育を生み出す基礎となりました。



Dr. Maria Montessori
[1870~1952]

☆子どもは自立したがっていますよ!!☆

子どもたちは、1歳をすぎて、片言で少しずつ自分の思いを伝えることができるようになってくると「自分でする!」「ひとりでできるようになりたい」と自分の身の回りのことを自分でやりたいと思い始めます。

その姿は人間の「自立」への最初の一步、願いの現れであり、私たち大人はその願いが実現するように手伝わなくてはなりません。

自立するということは、幸せになるということ。自分が精神的に満たされていれば、自然と他人に対する寛容さやあたたかいまなざしが生まれてきます。

お互いの違いや個性を認め合うことから、人間も社会も成熟していきます。子どもたちが、豊かな心で幸せな人生が送られるよう、そしてお家の方の子育てがより楽しく、充実したものになるよう、子どもたちを見守る心、じっくり観察する心をもって、その子が少しずつ変わっていく姿を一緒に見守っていきましょう。



子どもの姿

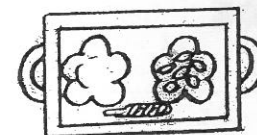


子どもが熱心につまんだり、まわしたり、空け移したり、切ったり、貼ったり...という活動を何度も繰り返したり、集中して取り組んでいる姿を見たことはありませんか?何回もなんかいも繰り返すからこそ、その動きが自然と身に付き、体や脳のネットワークが張り巡らされていくのです。また、繰り返す行動は、子どもの集中力をグンと高めていきます。納得いくまでやり続けるからこそ「できた!!」という喜びや満足感も生まれてきます。

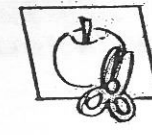
ご家庭でも、子どもが何かに集中している姿を見かけたら、まず見守ってあげましょう。



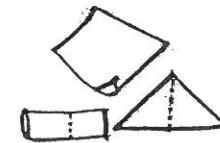
◎そういった子どもたちの内面の欲求に沿った、活動の道具が幼稚園のお部屋にはたくさん用意されています。



あけうつし



紙切り

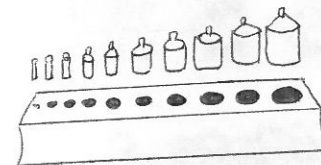


折り紙

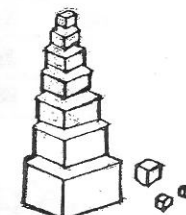


玉とおし

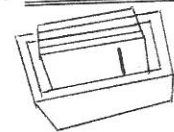
そして、モンテッソーリが考案した特別なものをモンテッソーリ教具と呼んでいます。



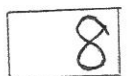
円柱さし



ピンクタワー



砂数字板



etc...

これらの教具を通して、子どもたちはふさわしい環境におかれ、また自由に活動していく中で、子どもの内面の方向付け(内的欲求)に従って、自分自身を発達させていくのです。

